

表面処理技術から未来を創造する

第58期・2018年3月期

第2四半期決算説明資料

株式会社 JCU

東証1部 4975

2017年11月2日(木)開示

2017年11月16日(木)更新

※トピックスをアップデート





- 2018年3月期第2四半期決算概況
- 通期業績予想・トピックス
- 参考資料（会社概要）

2018年3月期2Q累計 業績概況

当社決算の概況

〈2Q累計会計期間〉

JCU(単体) → 4月-9月

海外子会社 → 1月-6月

《電子部品分野向け》

海外において、ハイエンドスマートフォン向けのプリント配線板製造を行う顧客で新工法の立ち上げがあったことに加え、中国系スマートフォン向けの需要が底堅く堅調に推移したことにより、薬品販売は高水準で推移。国内の薬品販売においても、緩やかな回復基調で推移。売上高は前年同期を上回った。

《自動車分野向け》

国内の薬品販売は緩やかながら回復基調が見られたものの軟調、横ばい。海外は、中国において小型車減税縮小後も、日系自動車の生産および販売が好調であったことから、薬品販売は堅調に推移。売上高は前年同期を上回った。

2018年3月期2Q累計 業績概況

【連結】

(単位:百万円)

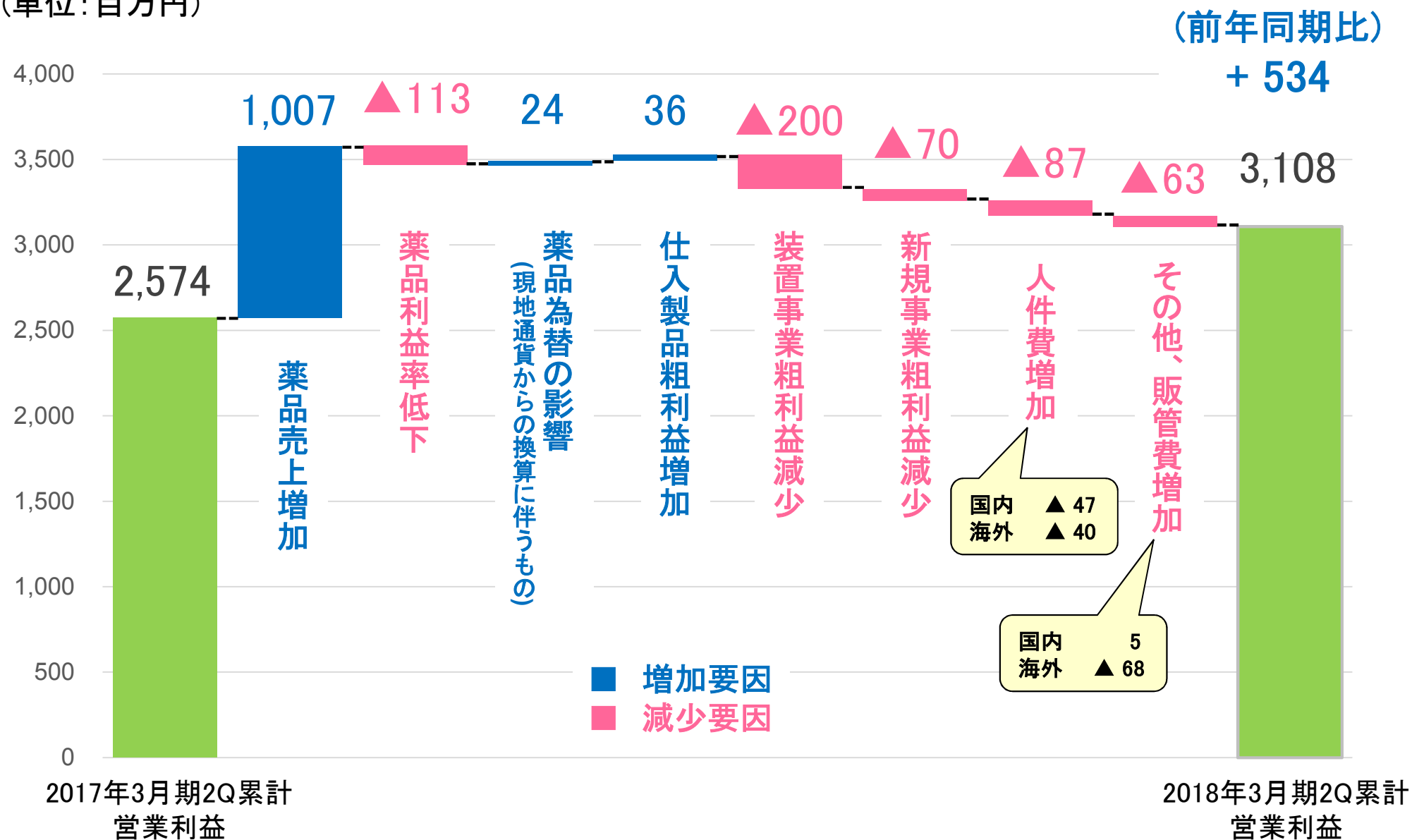
決算期	2016年3月期 上半期	2017年3月期 上半期	2018年3月期 上半期		
	実績	実績	8/2修正予想	実績	対前年同期 増減率
売上高	9,928	10,514	10,000	10,255	▲2.5 %
営業利益	2,350	2,574	2,850	3,108	20.7 %
経常利益	2,387	2,283	2,800	3,060	34.0 %
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,605	1,682	2,000	2,248	33.7 %
1株当たり 四半期純利益	113円82銭	119円76銭	143円77銭	161円63銭	—

(注) 2017年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

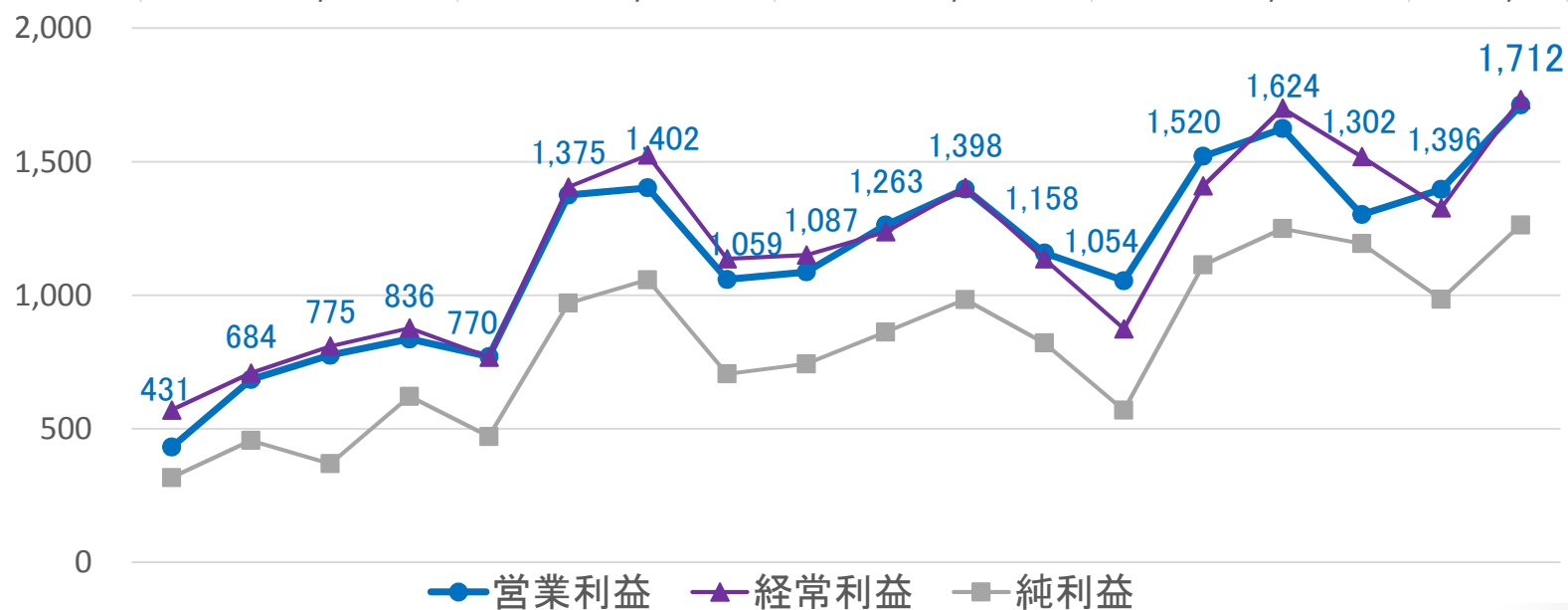
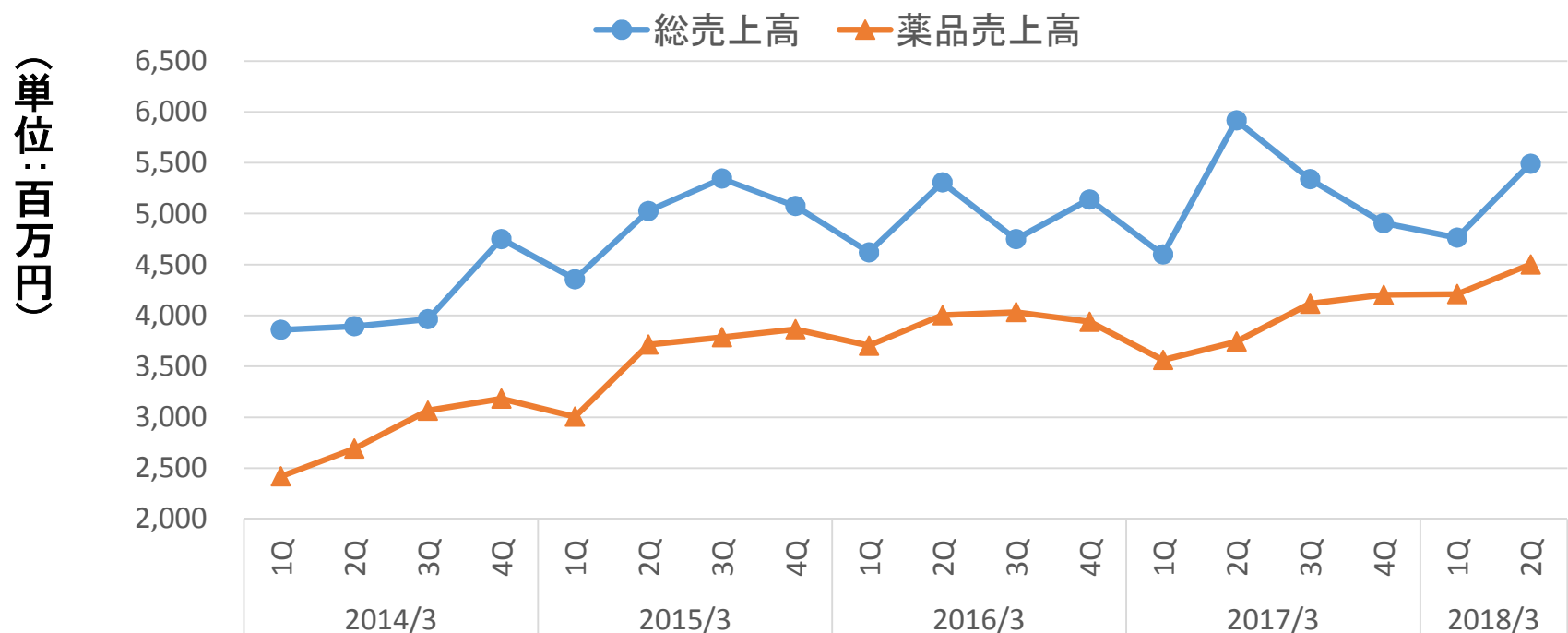
前年同期比で、薬品事業の売上高は大幅増、一方で装置事業および新規事業は減少。
売上高に占める薬品事業の割合が増加したため、売上高は前年同期割れも利益が伸長。

2018年3月期2Q累計 連結営業利益 増減内容

(単位: 百万円)

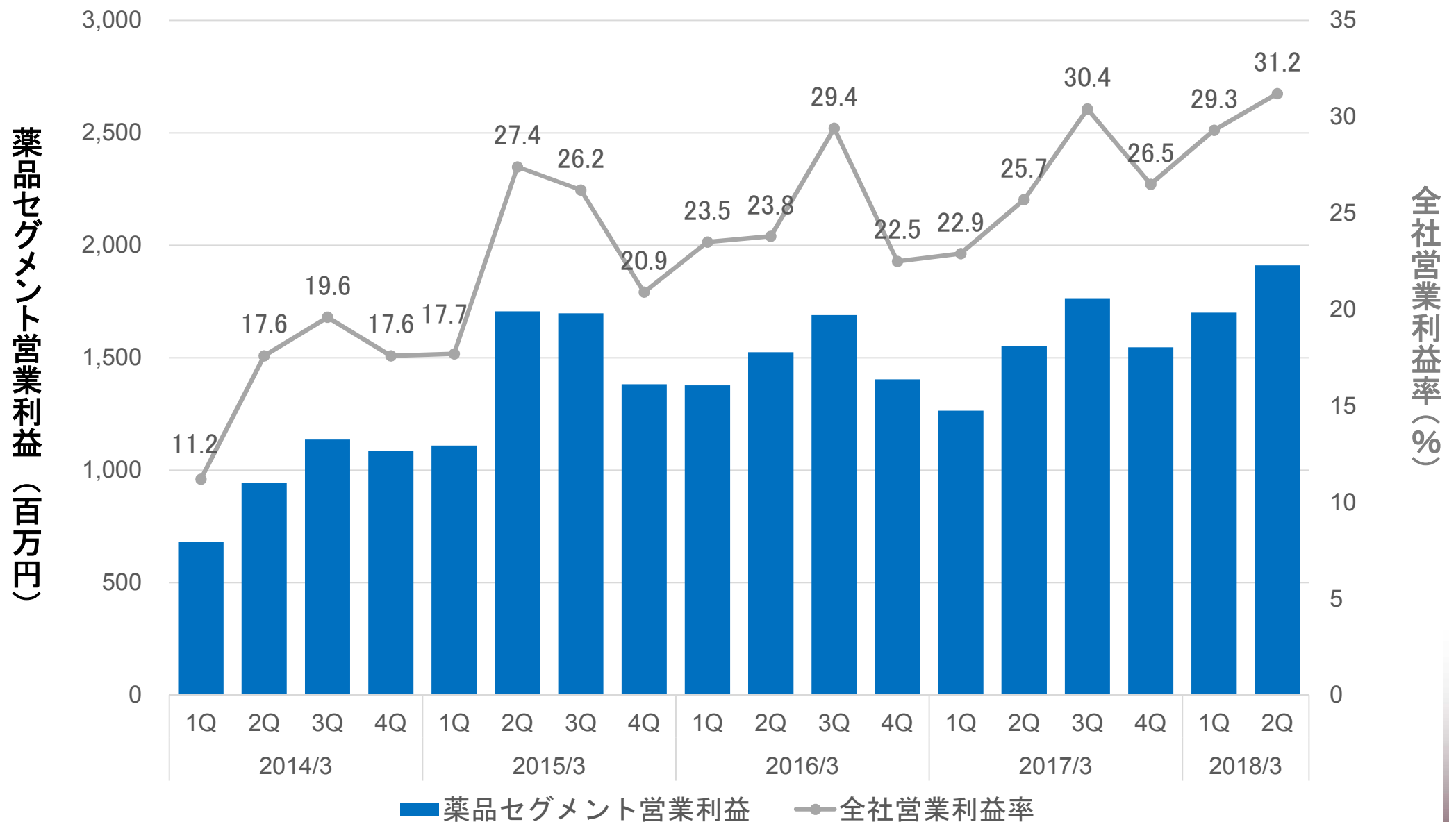


四半期別 連結業績の推移



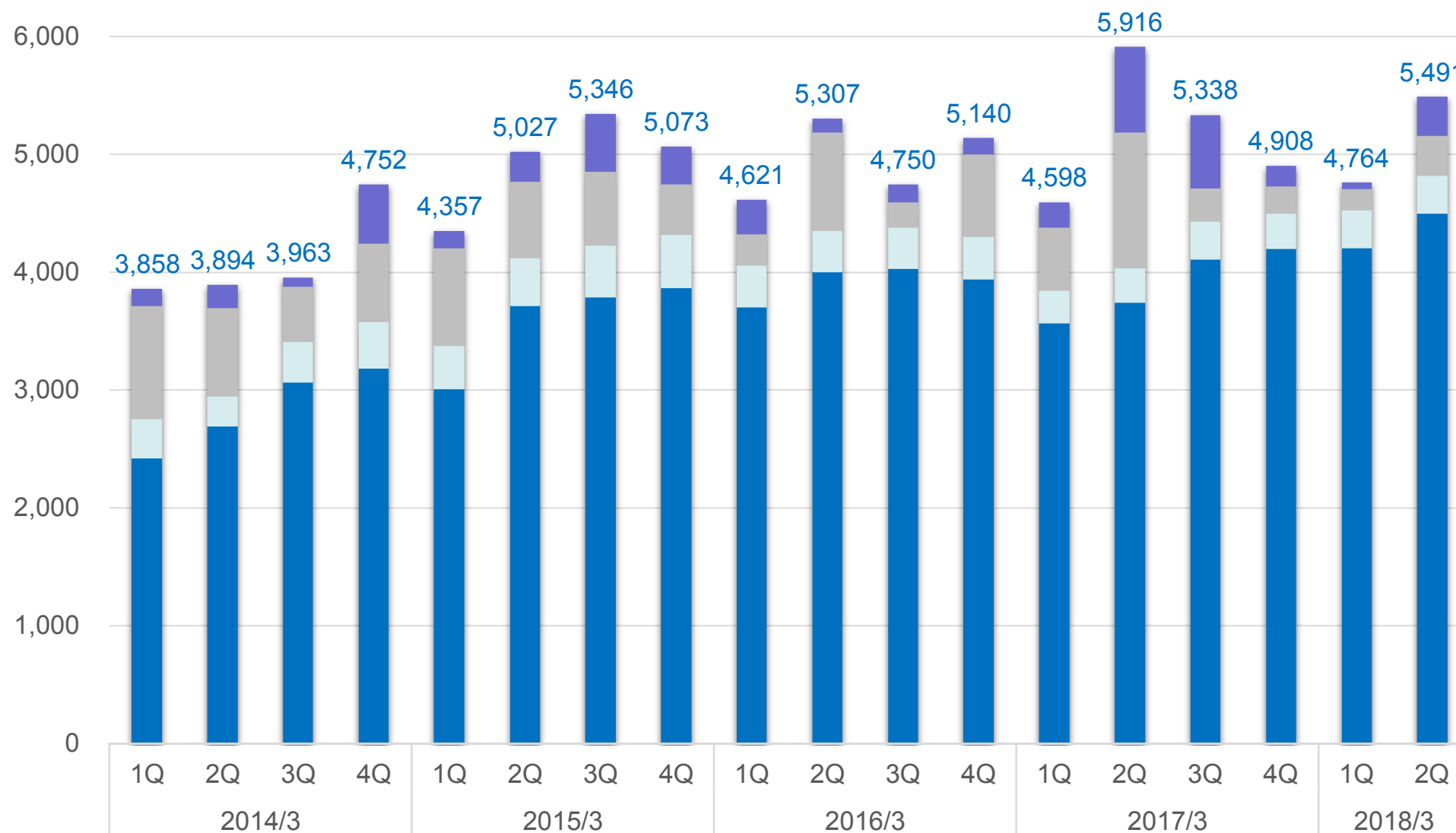
青文字: 営業利益
(百万円)

四半期別 薬品セグメント営業利益・全社営業利益率推移



四半期別 連結売上高の推移

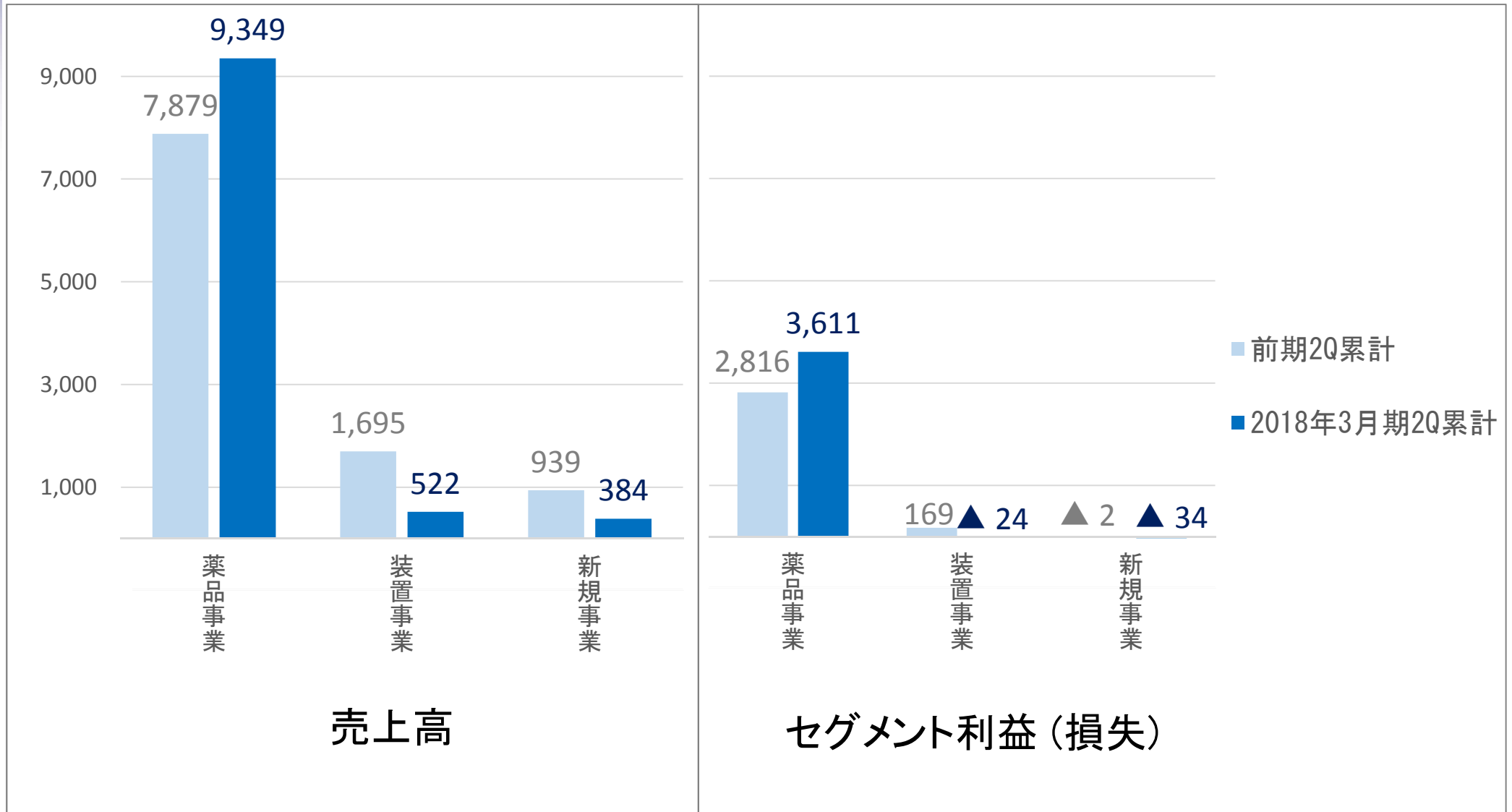
(単位: 百万円)



■ 薬品事業 (薬品) ■ 薬品事業 (仕入製品) ■ 装置事業 ■ 新規事業

2018年3月期2Q累計 連結セグメント業績

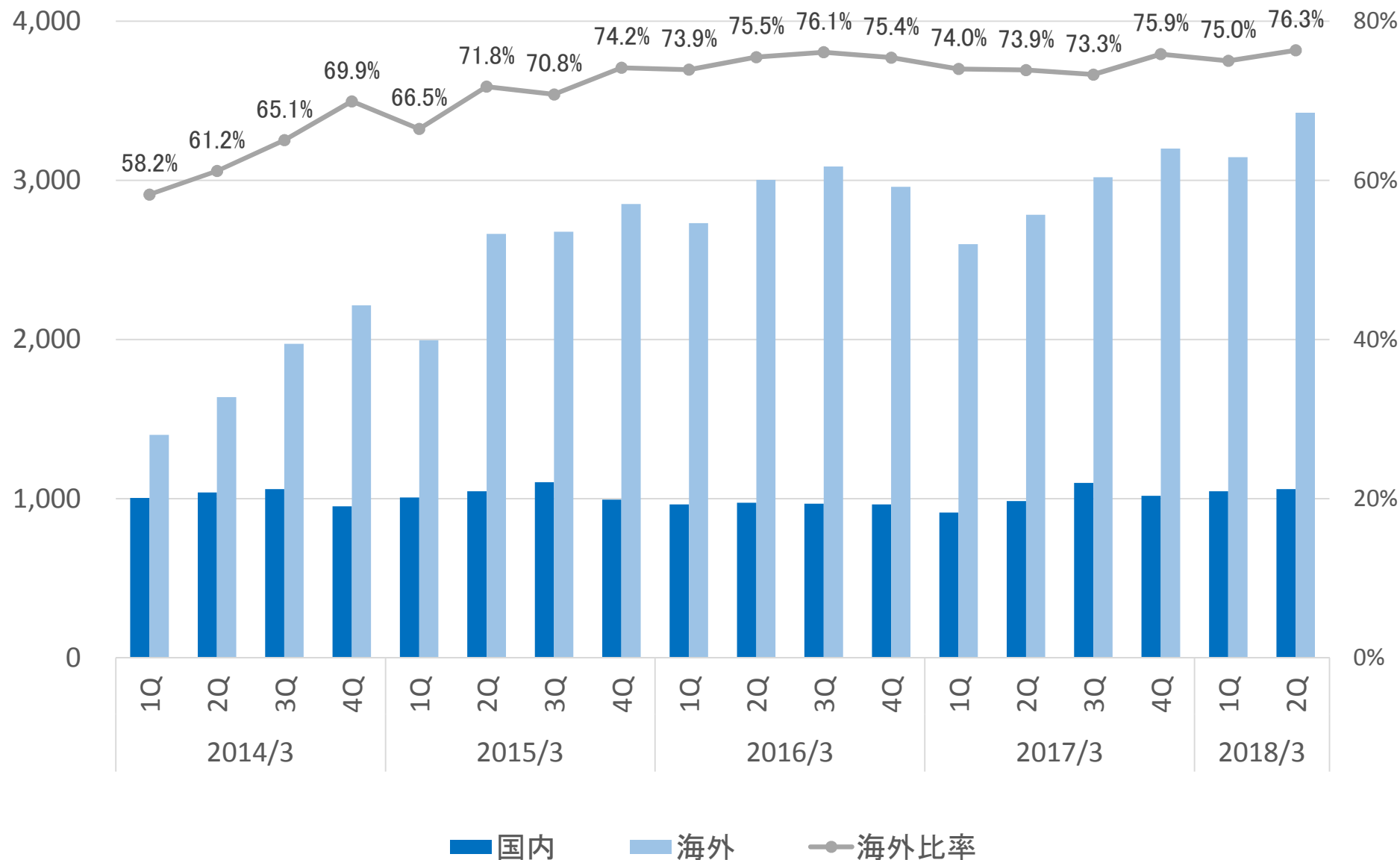
(単位:百万円)



※2017年3月期より、組織変更に伴い「新規事業」に含まれていた貴金属めっき薬品
及びコーティング材について「薬品事業」へ含めて表示しております。

四半期別 国内外薬品売上高推移

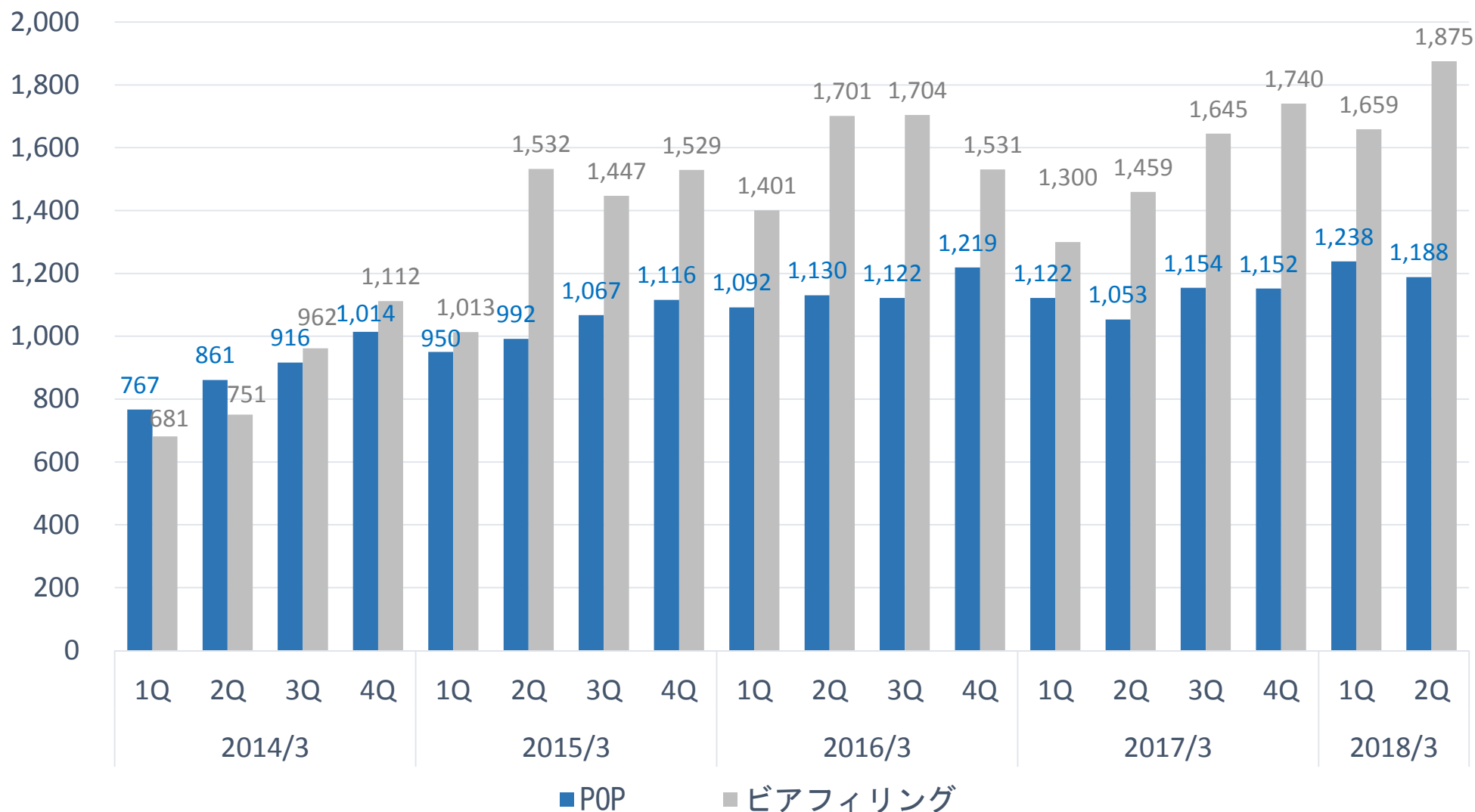
(単位:百万円)



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

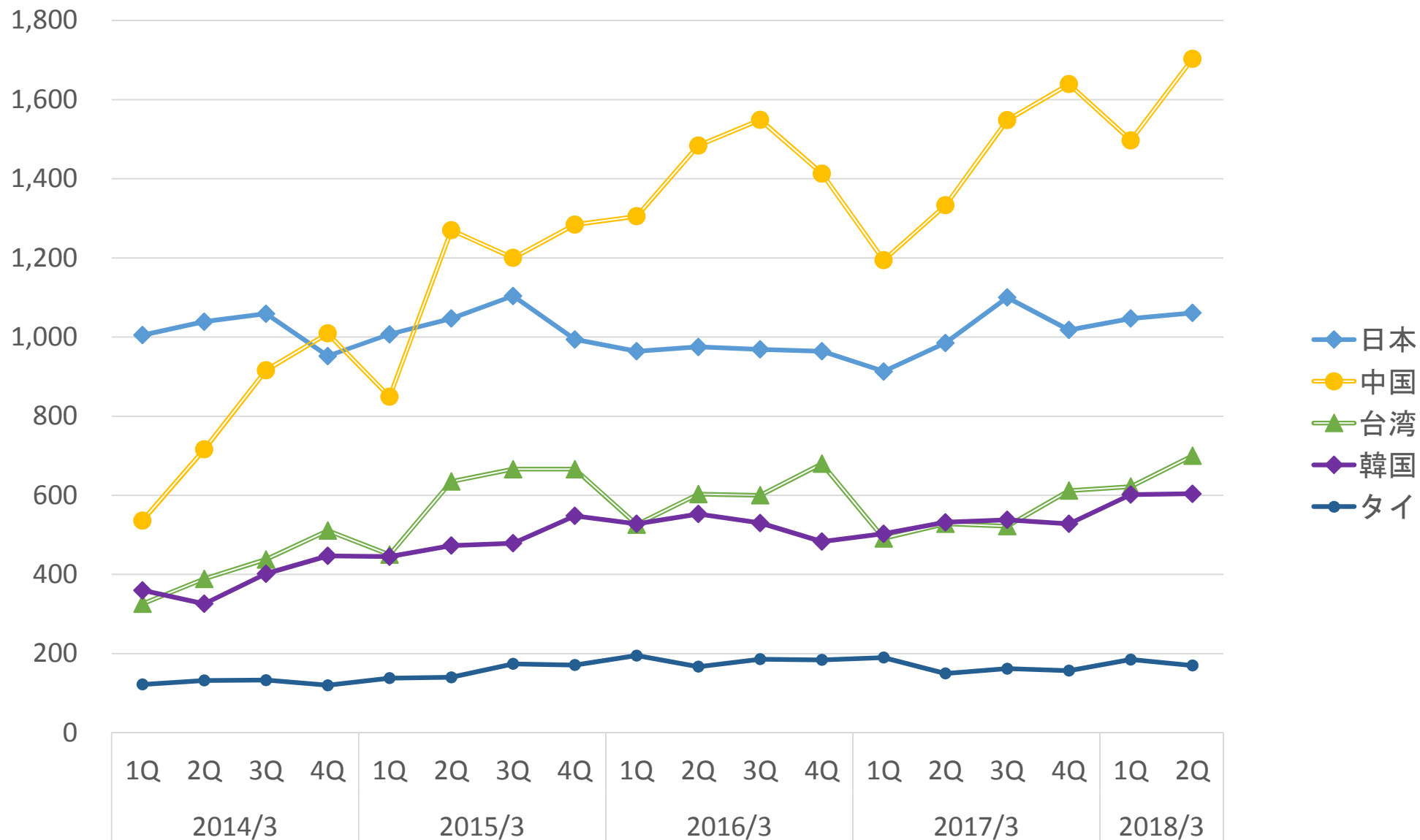
(単位:百万円)

POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
ビアフィリング…プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

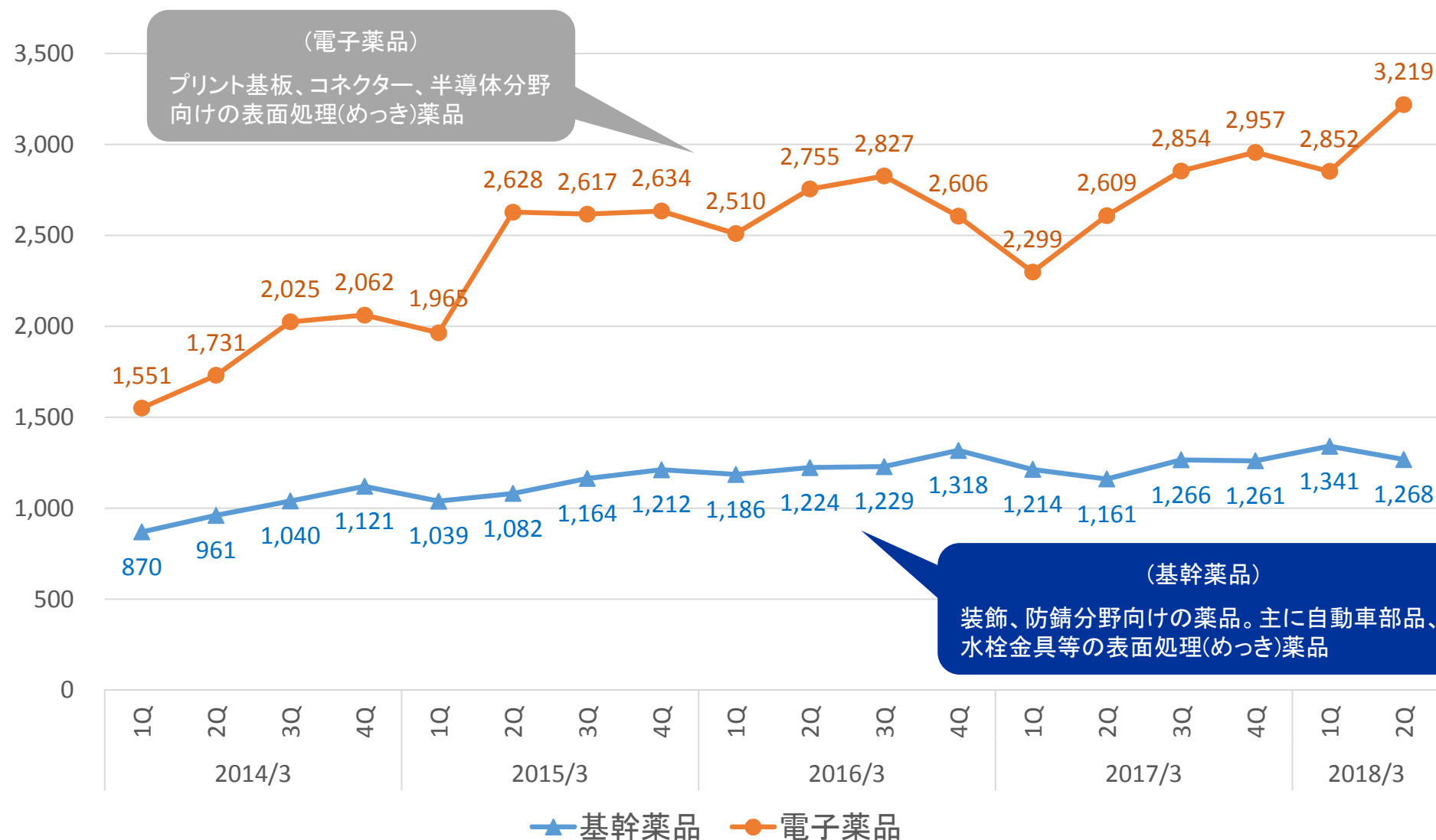
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

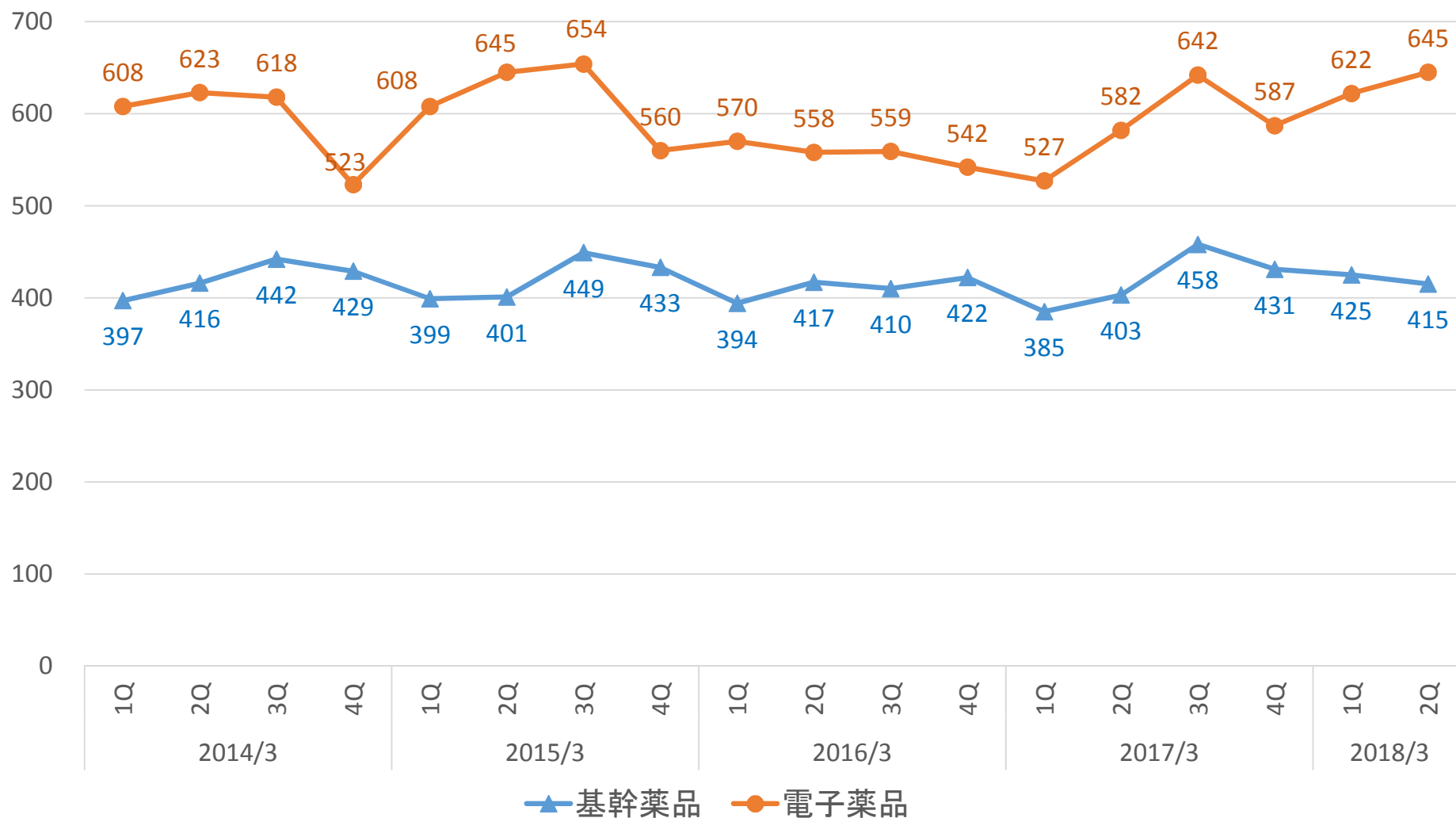
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

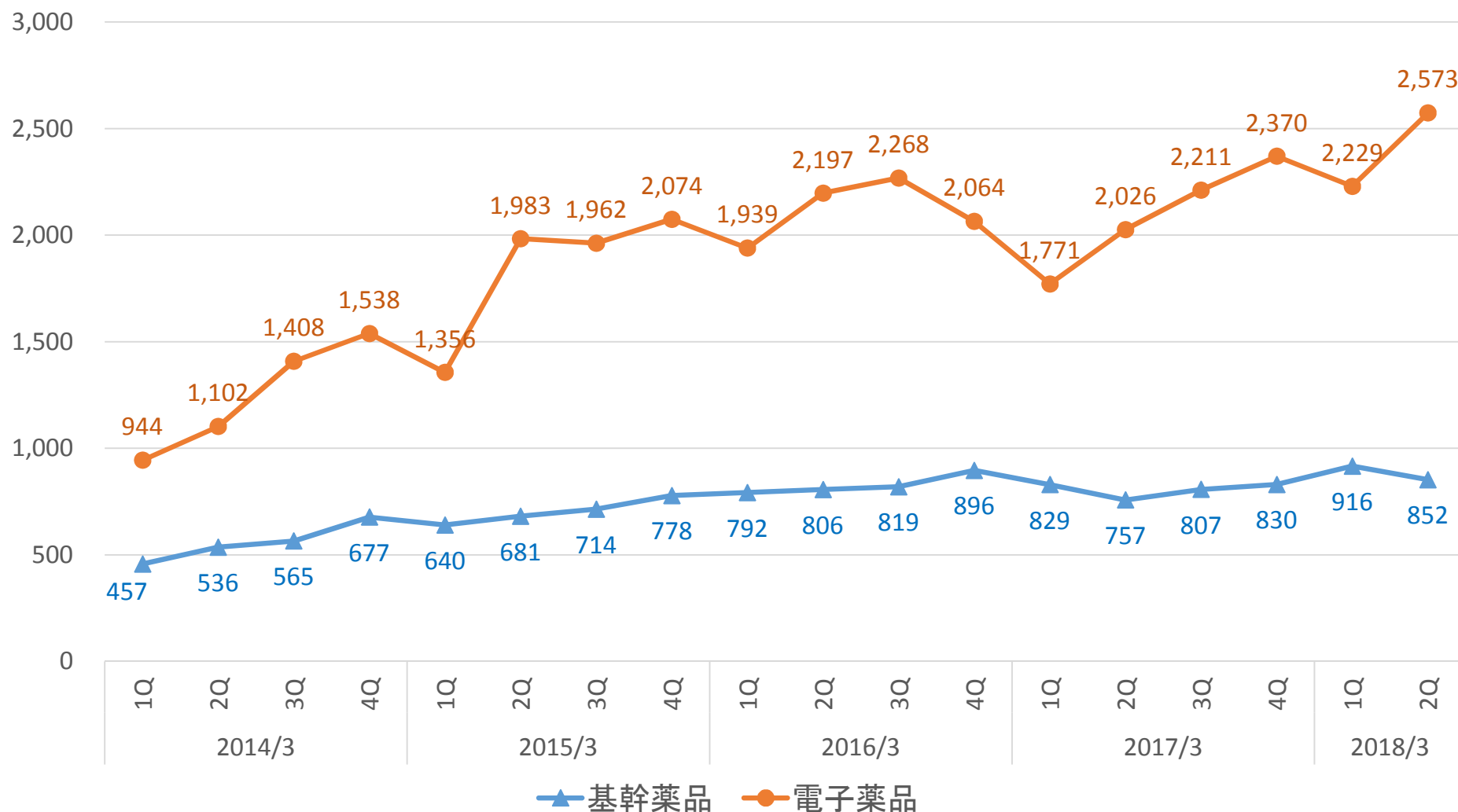
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

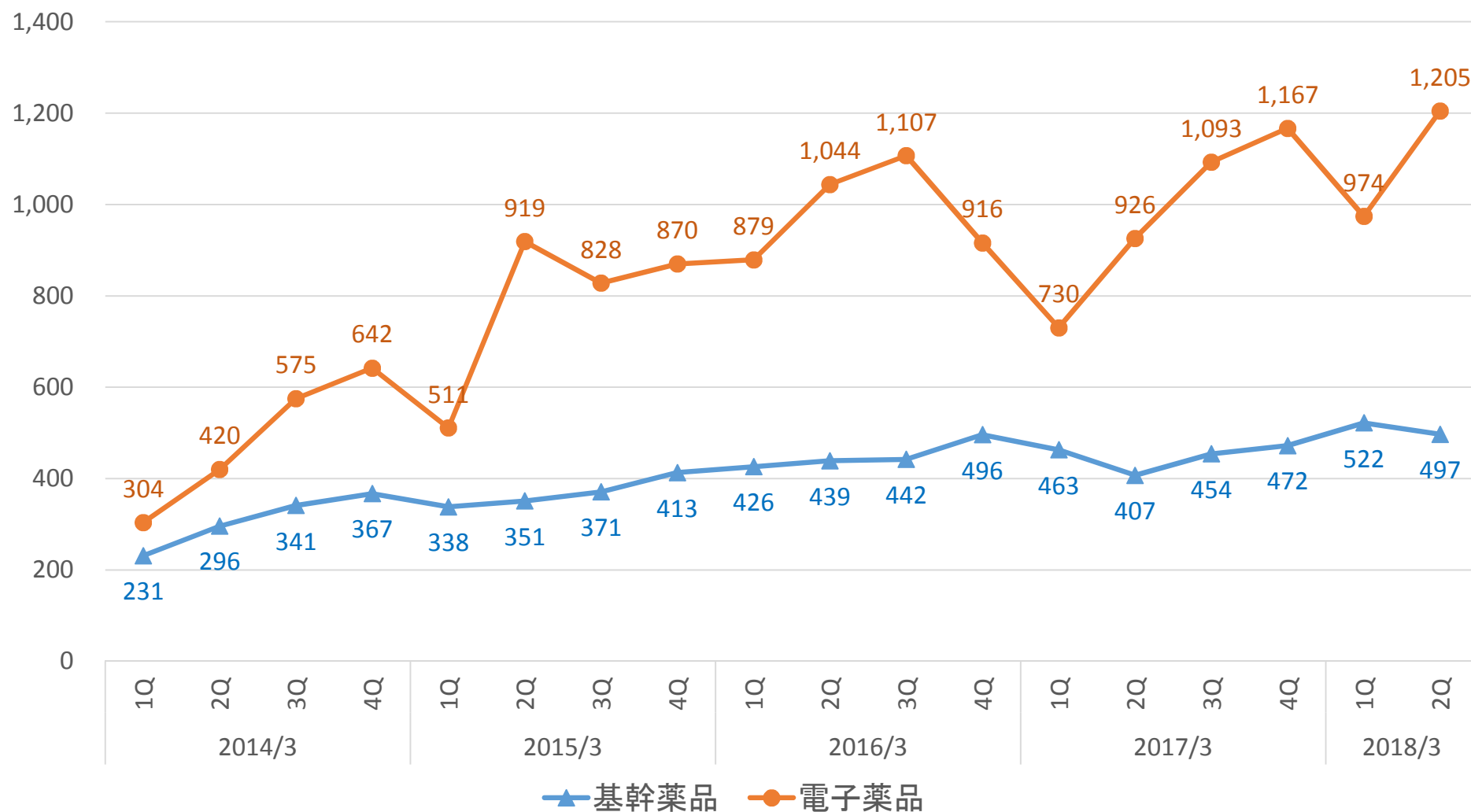
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

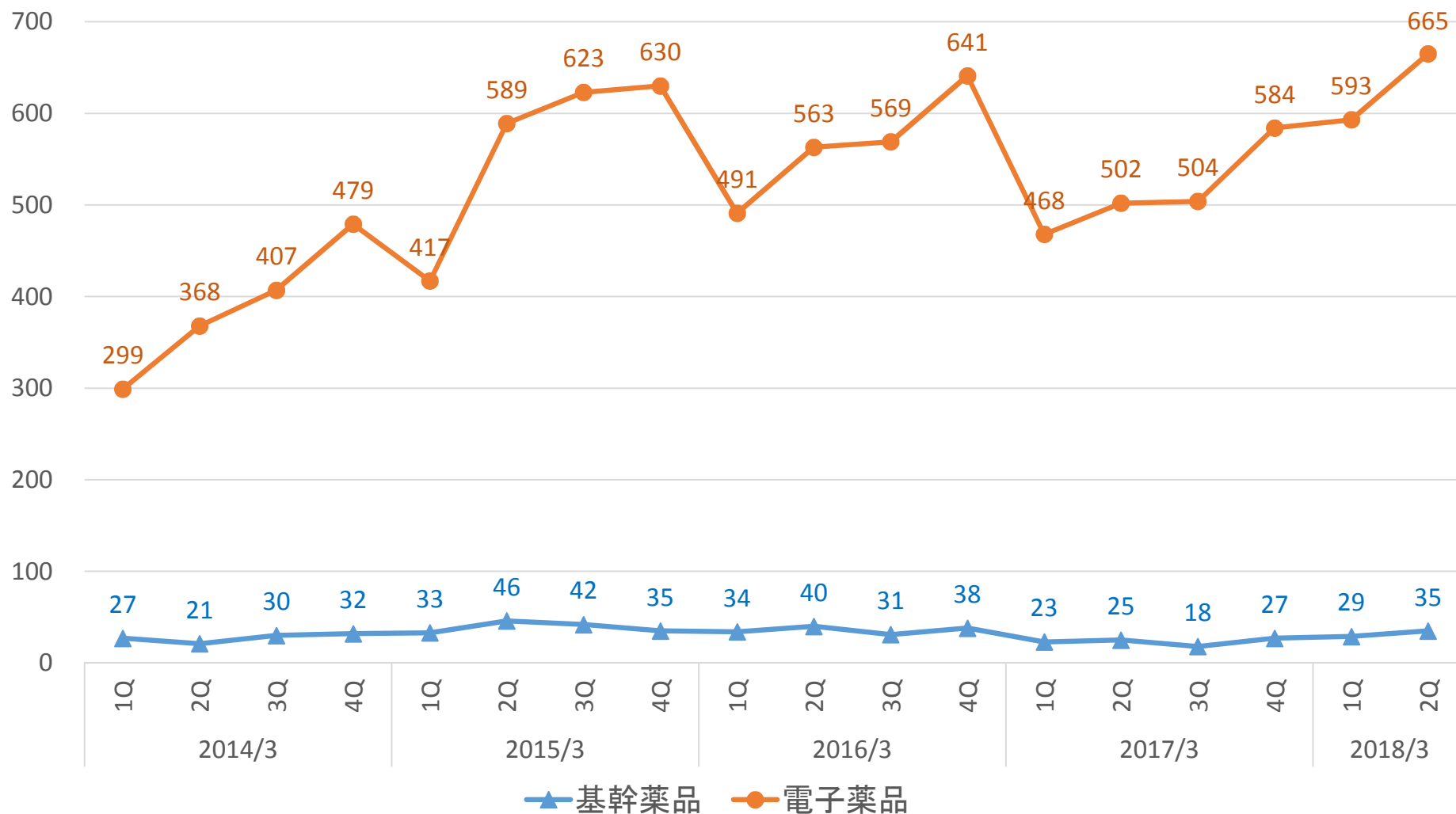
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

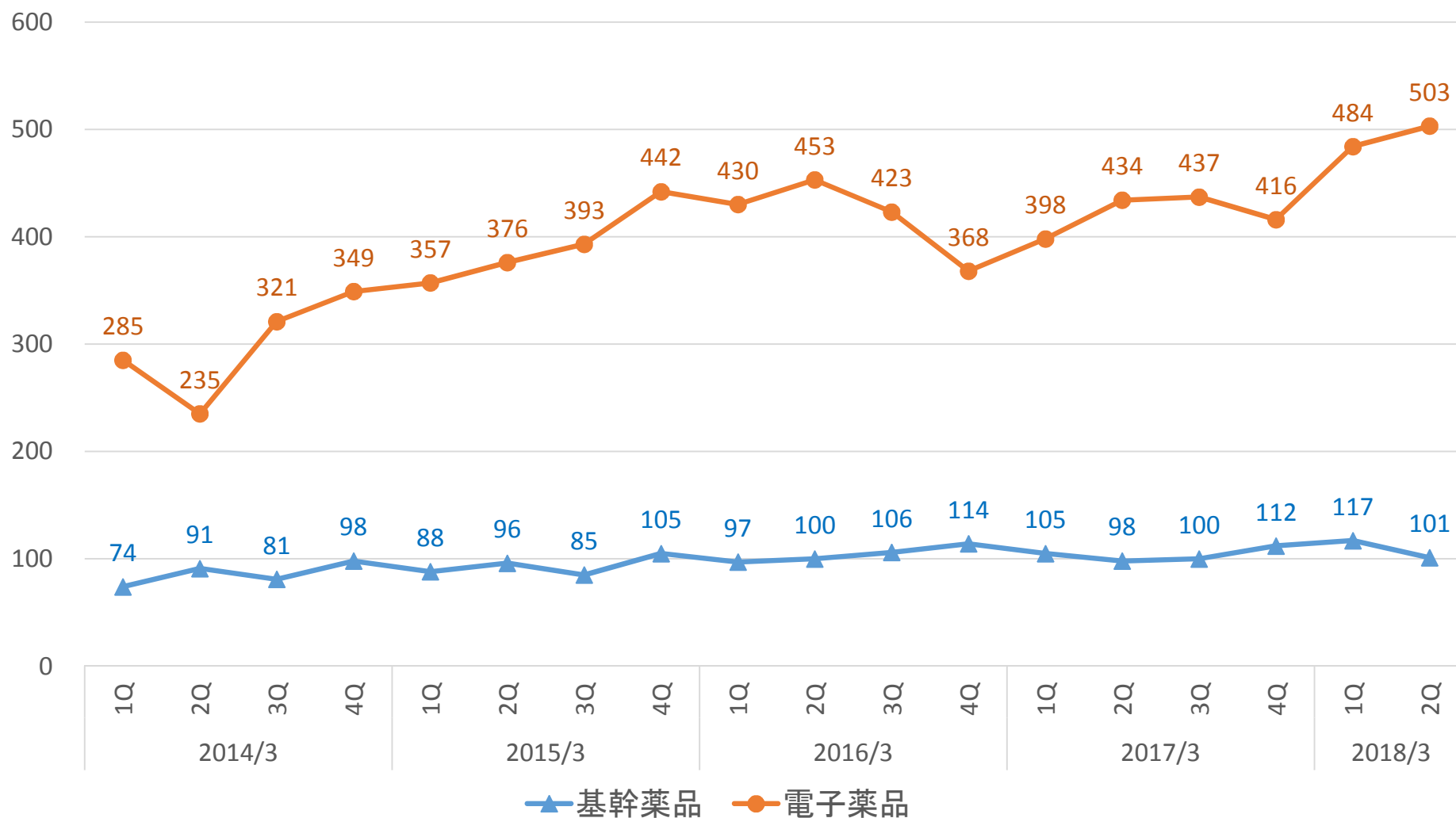
台湾



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

韓国





- 2018年3月期第2四半期決算概況
- **通期業績予想・トピックス** 2017/11/16 更新
- 参考資料（会社概要）

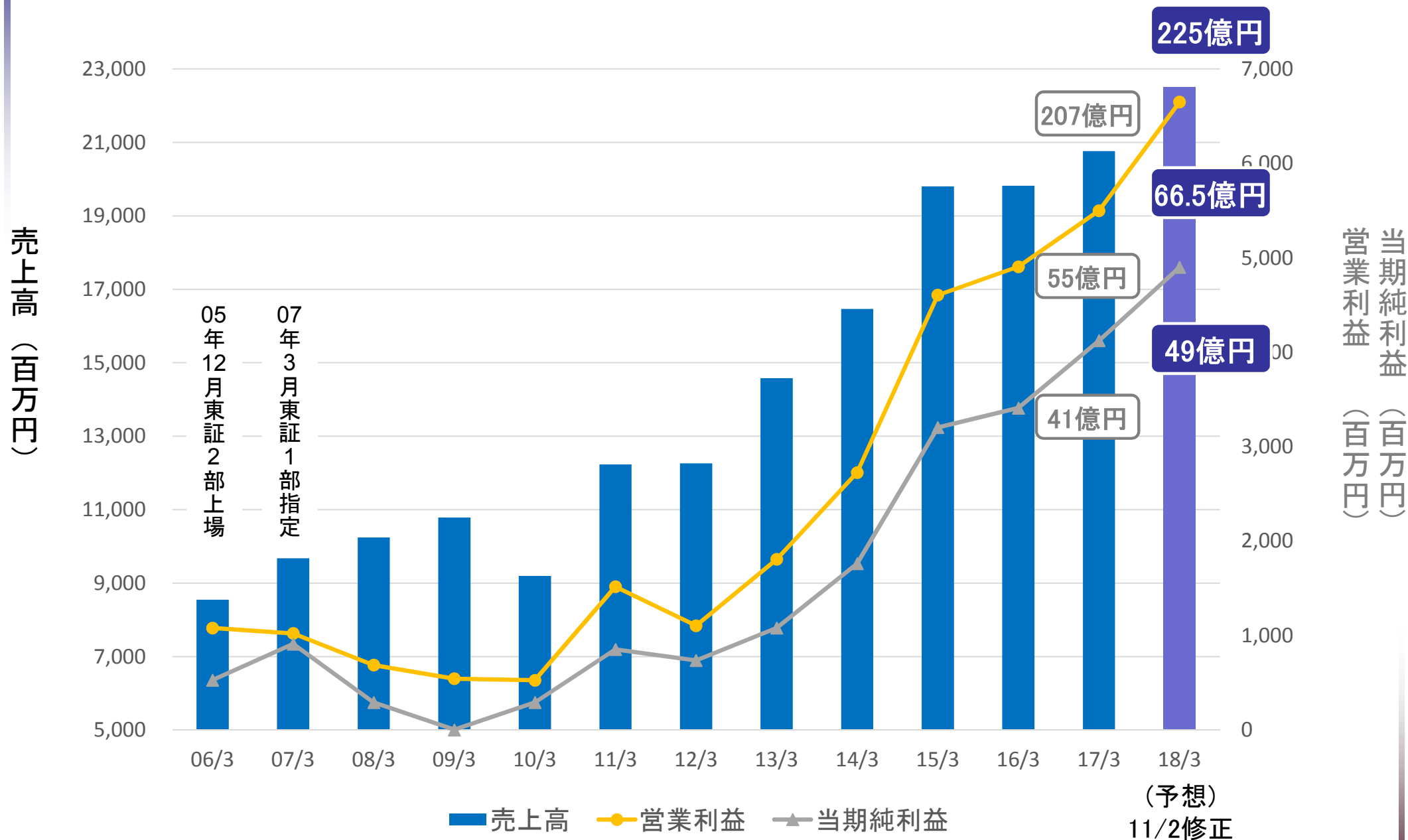
業績予想の修正

【連結】

(単位:百万円)

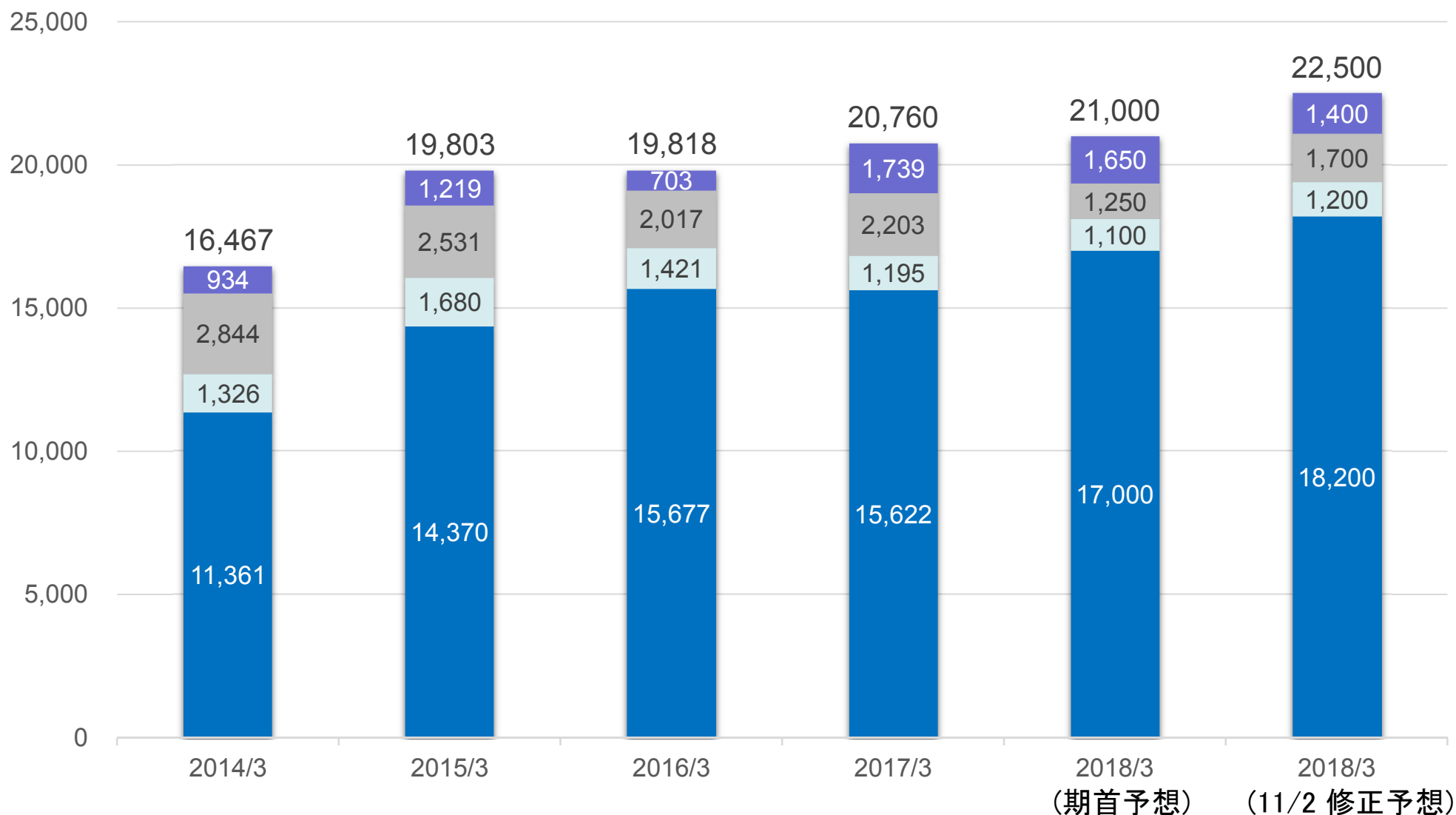
決算期	2018年3月期				
	上半期 (実績)	通期 (期首予想)	通期 (8/2修正予想)	通期 (11/2修正予想)	前期に対する 増減率
売上高	10,255	21,000	22,000	 22,500 (+ 500)	8.4 %
営業利益	3,108	5,900	6,200	 6,650 (+ 450)	20.9 %
経常利益	3,060	5,900	6,150	 6,650 (+ 500)	20.9 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,248	4,300	4,500	 4,900 (+ 400)	18.8 %
1株当たり 当期純利益	161円63銭	309円16銭	323円43銭	352円18銭	—

上場からの業績推移（予想）



年度別製品構成別売上高推移（予想）

（単位：百万円）



■ 薬品事業（薬品） ■ 薬品事業（仕入製品） ■ 装置事業 ■ 新規事業

※2017年3月期より、組織変更に伴い「新規事業」に含まれていた貴金属めっき薬品
及びコーティング材について「薬品事業」へ含めて表示しております。

配当予想

		2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
1株当たり配当金	中間	30円 (内:記念配当 5円)	30円	35円
	期末	30円 (内:記念配当 5円)	35円	35円
	年間	60円 (内:記念配当 10円)	65円	70円

(注) 2017年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割を行っております。
2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しております。

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。

台湾現地法人
台湾JCU股份有限公司
【新社屋 竣工式】



台湾JCU 新社屋(桃園市)

(2017年8月8日) プレスリリース

◆ 台湾桃園市に新社屋を建設

→ これまで別々の拠点(台北市本社、桃園市技術サービスセンター、桃園市倉庫)にいた従業員を集約し、部署の連携を強化。

◆ 評価試験用パイロットプラントを設置

→ お客様を招いて評価試験を行うパイロットプラントは全体に空調を完備し十分な実験スペースを確保。お客様目線で作業環境を大幅に改善。

◆ 台湾から中国・アジアへの拡販体制を確立

→ お客様の中国工場での生産が増加しているものの、薬品の評価・選定は台湾のマザー工場で行うことが多いため、お客様のサポート体制を強化し技術・新製品提案力強化を図ることで、拡販体制を確立。

当社台湾現地法人の新社屋の完成を機に、2017年8月9日、竣工式を実施しました。

当社社長の君塚および現地の関係者が出席し、台湾式のセレモニーを行いました。

これまで以上にお客様サポート・技術提案を強化し、台湾のお客様との信頼関係を構築してまいります。



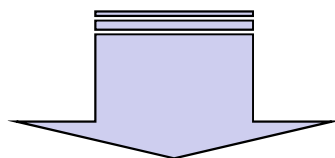
FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト

【進捗報告】

前回報告(まとめ)

フレキシブル基板(FPC)・・・薄く柔軟性があり、折り曲げられる基板。

- ◆ 近年、スマートフォン等のモバイル機器に使用され、FPCの需要が増加。
- ◆ FPCの市場拡大にあわせて、新しい製造工法(プロセス名:^{エルフシード}ELFSEED)を提案。
- ◆ FPCメーカーが素材に直接めっきを行うため、商流の変化が起こる。(次頁、参照)
- ◆ スパッタによる工法と異なり、穴の開いた素材に対して1度に両面へめっきができるため、より微細な回路の形成が可能。^{さきあな}(先孔工法)
- ◆ ロール to ロール式の装置と薬品のセット販売 → 生産性UPと大幅コストダウン



技術的、コスト的にも優位性あり！

FPCの商流

〈ターゲット〉

- ◆ FPCメーカーのFCCL工程の内製化（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ FCCLメーカーへの新工法提案（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ パッケージ基板へFPC採用（軽薄短小化）

ポリイミド(PI)
フィルムメーカー

フレキシブル銅張積層板
(FCCL)メーカー

FPCメーカー

最終製品メーカー

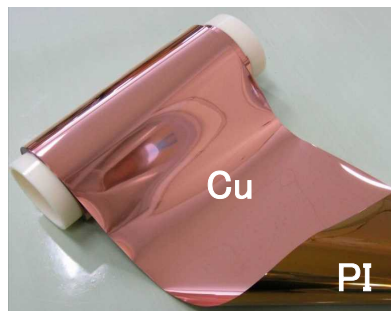
ポリイミドに銅箔(Cu)を張る。

FCCLを購入し、回路を形成してFPCを製造する。

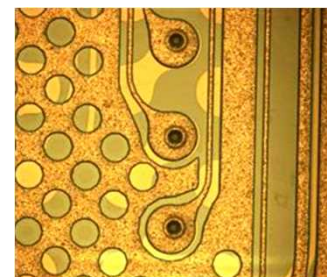
スマートフォンメーカー
TVメーカー、PCメーカー等



ポリイミド(PI)



FCCL(フレキシブル銅張積層板)

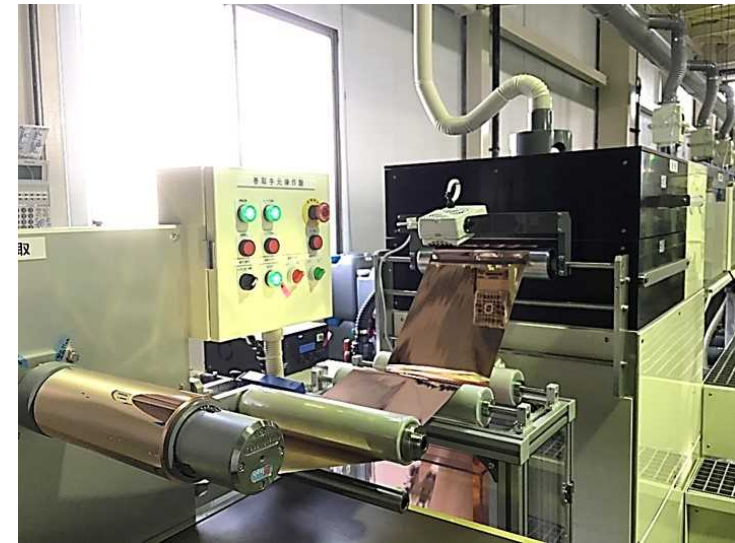


両面FPC





①ロール to ロール式
無電解ニッケルめっき装置



②ロール to ロール式
電解銅めっき装置



③ロール to ロール式
プラズマ装置

現 状 報 告

- ◆ 今期の目標であったロール to ロール式装置を年内に1社受注の見込み。
- ◆ 現在FPCはサブトラクティブ法で製造されているが、次世代の高精細FPC(L/S=20/20 μ m)は、SAP(セミアディティブ法)が検討される。 エルフシード 〈ELFSEEDのターゲット〉

今後の対応

- ◆ 受注予定の装置は、来期前半に納入予定。実績と技術が認められ、お客様の広がりに期待。
- ◆ 高精細FPCの低コスト化技術提案を継続。(薬品と装置を融合した当社強み)
- ◆ 様々なフィルム幅に対応する装置機構を検証。



- 2018年3月期第2四半期決算概況
- 通期業績予想・トピックス
- 参考資料（会社概要）

会社概要

創業	:	1957年 12月
設立	:	1968年 4月 1日
資本金	:	11億9,157万円
年商	:	単体 135億円 連結 207億円 (2017年3月期末)
本社所在地	:	東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階
業務内容	:	表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売
代表者	:	代表取締役会長兼CEO 小澤 恵二 代表取締役社長兼COO兼CTO 君塚 亮一
従業員数	:	単体 269名 連結 544名 (2017年3月末現在)

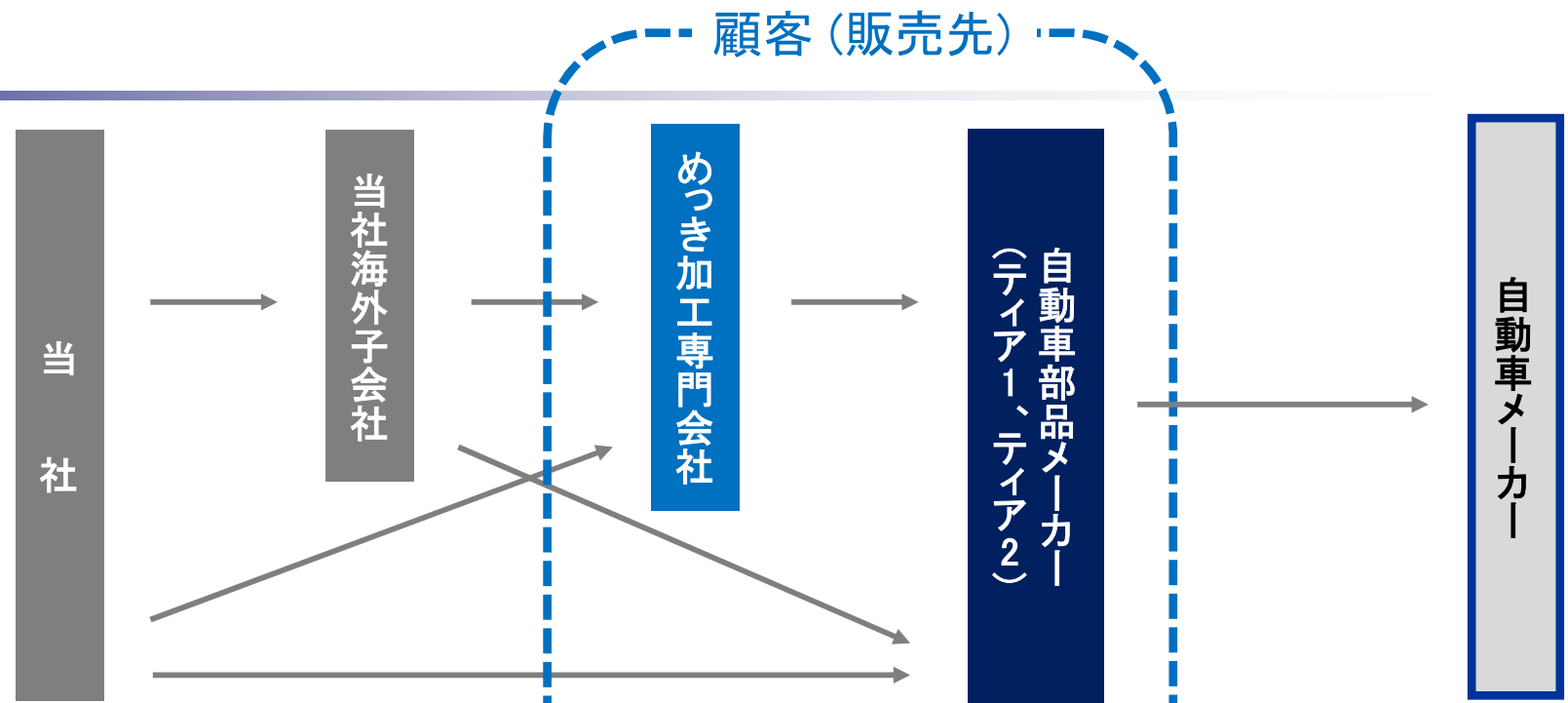
ISO認証取得

ISO9001 生産本部・薬品調達部・本社営業部・総合研究所 JCQA-0281

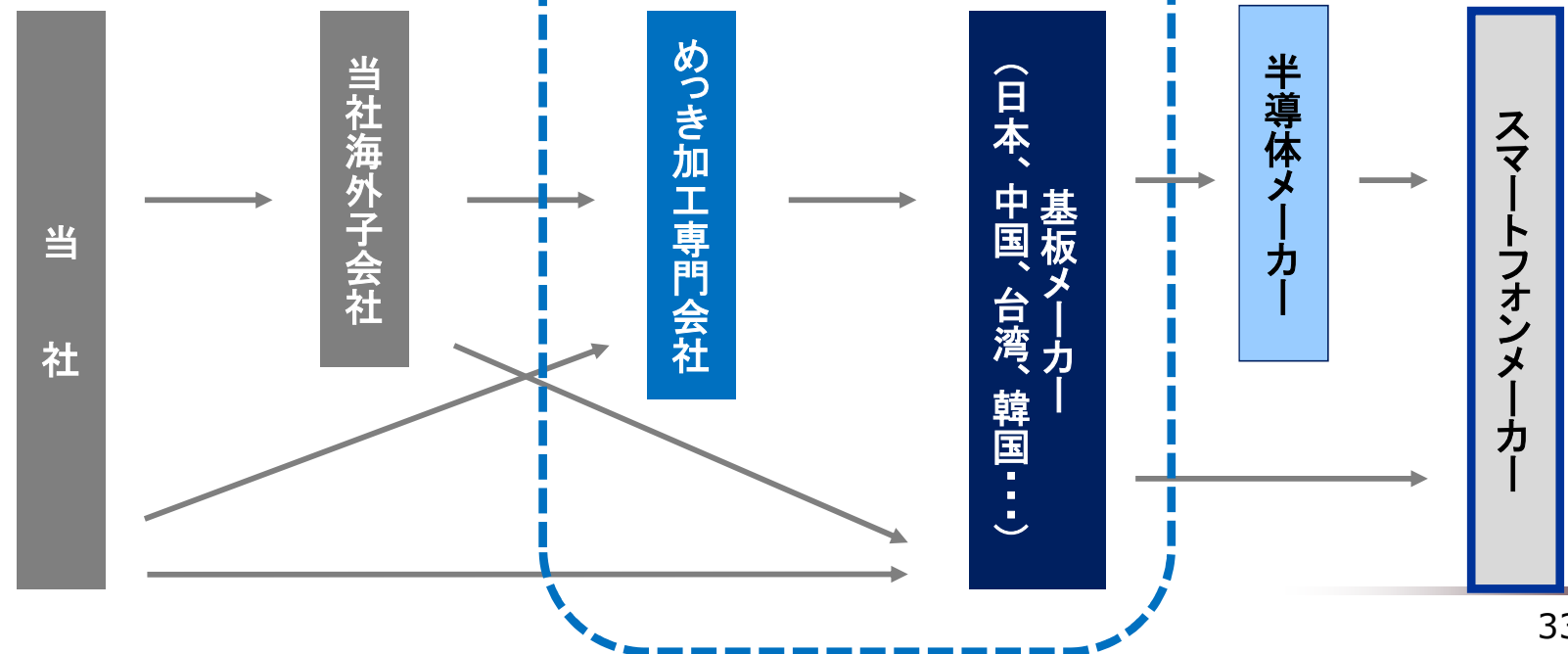
ISO14001 生産本部・総合研究所 JCQA-E-0143

主な商流

自動車



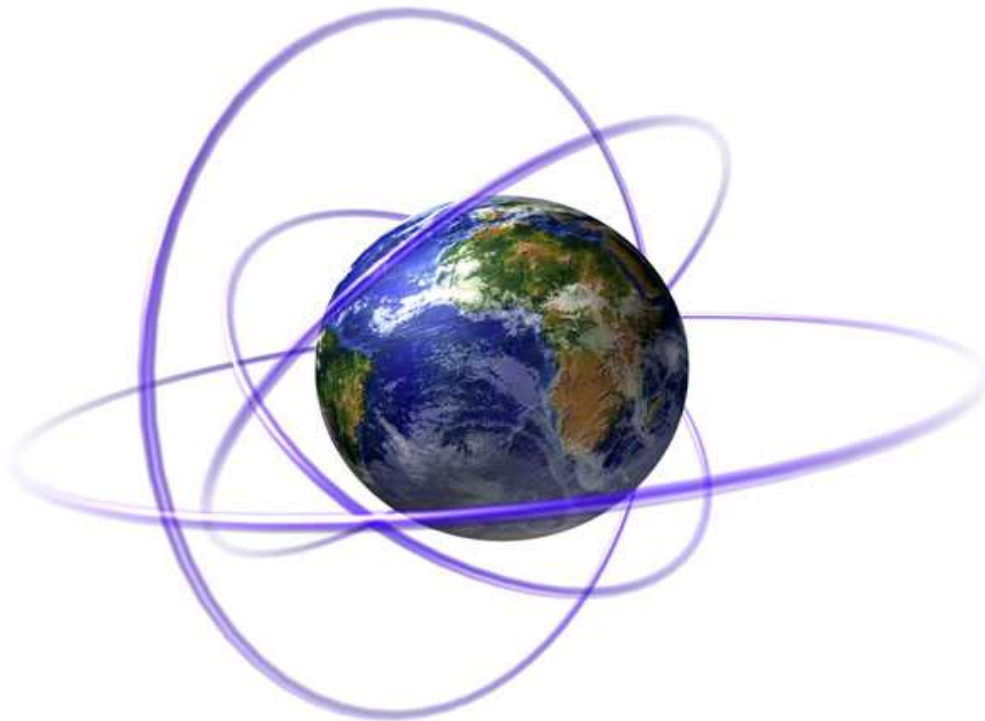
スマートフォン



主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品(フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具(給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品(ボルト、ナット等)
	電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板(両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品(リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体(シリコンウエハー)
装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
新規事業	プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工
	天然水	当社ブランド「富士桜長命水」の販売

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ:
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先: 経営戦略室
TEL: 03-6895-7004